

2022年参議院選挙闘争推進 NEWS

全労連参議院選挙闘争本部 2022年6月10日 No.4

「大政翼賛化は全力で止める」、れいわ新選組に要請

全労連は6月9日、「2022年参議院選挙での私たちの要求実現と野党共闘の強化を求める要請」と「ケア労働者の大幅賃上げを求める要請」にもとづいて、れいわ新選組の大石あきこ政審会長（衆院議員）との懇談を行いました。

要請は小畑雅子議長と川村好伸副議長が行い、れいわ新選組からは大石あきこ衆議院議員（政審会長）と中島浩政策秘書が対応。

小畑議長は「戦争する国づくり、9条改憲の動きが強まっている。労働者の要求を実現するためにも市民と野党の共闘が重要であり、れいわ新選組としてもこれまで以上の努力をお願いしたい」、コロナ禍で大変な思いをしてきたすべてのケア労働者の賃金と処遇の改善を、「全国の最低生計費調査では支出項目の多寡に違いはあるが、当たり前で生活するためにはどこでも1500円が必要」と、労働者の切実な要求をとりまとめた8項目の課題の実現を要請しました。



大石議員は、「最賃の調査結果を見させていただいて、当たり前の生活ができていないことを実感した。そういう社会を国がつくりだしている」、「最賃1500円は各野党の共通の政策になってきているが実現していない」、「8項目の課題はれいわ新選組の政策とほぼ一致している」と述べました。小畑議長は「最賃引き上げのためには中小企業への支援が不可欠であり、全労連の政策も参考にして実現していただきたい」と話しました。

また、大石議員は、「菅前首相は最賃引き上げで、中小企業を淘汰しようとした。国の助成がなければ中小企業はつぶされる。ウクライナ危機でも、野党の中で対応が異なる。参議院選挙で野党共闘が大事だが、まともな野党がけん引して、大政翼賛化は全力で止めるしかない」、「労働組合が強くなっていくことなしに、政治的課題も解決しない」と語り、小畑議長も「労働運動や市民運動が、国会の外で市民と野党の共闘を強めるため努力したい」と述べました。

埼労連が参院選学習動画を作成



埼労連は、組合員を対象にした2022参議院選挙学習資料「選挙に行こう！」を5月に作成しました。7月の参議院選挙に労働組合としてどのように関わっていくか、改めて学ぶための学習資料となっています。

埼労連ホームページのYouTubeチャンネルからアクセスしてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=MFYvTJfOkn0>